

*2-week English studying program
in Honolulu, Hawaii.
(3.18~31, 2012)*

国際文化 2 年

L. G.



2012年3月18日~31日、この約二週間の間 University of Hawaii at Manoa で international programs of outreach college という英語学習のプログラムに参加したので、報告します。

アメリカへの渡航許可 (B2) を得るために、インターネットでのビザ申請やお金の振り込み、実際大阪に行つての面接など手数料がかかつて、面接の一週間後にすぐビザをもらうことができた。すべては、もちろん Rosen 先生の指導のもとで順調に終えた。

行く飛行機は夜なので、7 時間半だけある程度過ごしやすかった。帰りは朝便、そして 10 時間半かかったので、比較的には辛かった。左に座ったフレンドリーなアメリカ人と会話をし始めた。

UH での勉強は実際に 19 日～29 日の平日なので、毎日約 3 時間半程度の英語学習があつた。学生は 90% 以上の出席率を義務づけられた。授業では Hawaii 大学が作った教科書を使用した。また、教室内での授業だけではなく、Hula Dance の授業、Off-campus Activity (Bernice Pauahi Bishop Museum 見学)、計 3 回のインタチェンジと Hawaii 大学の Farm の見学も行われて、英語学習をしながらハワイ文化・文明に触れるチャンスがあつた。残念ながら、2 週間目は UH の春休みなので、学生は登校しなくて、学内のスーパーや食堂も全部閉まつた。UH 学生との交流チャンスが少なくなつて、安い食堂で昼ごはんを済ますこともできなかつた。

この二週間に行ったところ：

3 / 19 Waikiki Aquarium

(Queen Kapiolani ・住むホテルに近い、入場料\$6 / 学生。規模小。)

3 / 21 Honolulu Academy Of Arts ・ホノルル美術館

(ローゼン先生が予約されたので、無料で入場できた。東南アジア、ヨーロッパ諸国のアンティークがたくさん展示され、おもしろかつた。)



3 / 2 2 Chinatown

(意外と古かった。20年前の中国だと思う。Downtownに近いので夜は非常に危ないらしい。)

3 / 2 3 夜 Hilton Hawaiian Village のビーチで花火を見た。

(毎週金曜日夜5分程度の花火が打ち上げ、短いけどビーチで初めて花火を見たので感動した。)

3 / 2 4 KCC Farmers' Market

(毎週土曜日、朝7時～昼までやっている。名前通りに農民が農場から果物や野菜を直接持ってきて、安い価額で販売している朝市だ。相当混雑する。焼き立てのパンと焼きトウモロコシがおいしかった。早いうちに行くとかくさんの試食ができる。場所はQKホテル近くのバスかトロリで直接行ける。しかし朝早いし、週一回しかやってないので、交通機関が大変混雑していた。できれば、4, 5人グループを組んでタクシーで行くほうがいい。一人当たり\$2ぐらい10分ぐらい着く。)



3 / 2 5 Hanauma Bay で snorkelling

(バス一本で40分ぐらいかかる。QKホテルのすぐ近くにある。しかし毎週火曜日は魚を休めるために閉館となっている。入場料は\$7.5、snorkellingのレンタルグッズは\$12。ビーチに行く前にビデオを見ないといけない。景色が非常にきれいで熱帯魚も見えるのでおすすめです。)





3 / 2 6 Off-campus Activity. Tom先生と Bishop Museum を見学
(バスで40分。 入場料\$11.95/学生。ハワイの文化・移民の歴史・生活で使われた道具などが詳しく展示されて、ハワイの歴史を詳しく知りたい人にはおすすめです。)



3 / 2 8 Pearl Harbor
(入場料は無料だ。ビデオを見てから、小さな船に乗って U.S.S.

Arizona Memorial に入った。壁に死んだ軍人の名前がずらりと並び衝撃だった。またそこから海を眺めると今でも沈んだ軍艦から少しずつオイルが出てきている。）



3 / 29 卒業式

(英語を練習するために、みんなが順番で司会をし、短いスピーチをする人もいた。Entertainment として Hula dance の授業で習った踊りをみんな一緒に披露した。)



3 / 30 Diamond Head を登った。

(サンライズを見たかったので、朝5時半ぐらい出発した。タクシーで行くほうが登る体力がある。意外と日本人のツアーが多いので、

日本語だらけだった。)



Queen Kapiolani ホテルは Waikiki の近くにあるので、交通は非常に便利だった。この2週間の間に様々な所に行ったが、ほとんどバス1本で直接行けた。ハワイが初めての私たちにとっては非常に助かった。また、JTB 支店と遠くないので、知りたい情報をすぐ手に入れることができた。

今回の旅で、「アメリカはチップ社会だ」の意味はしっかりと理解できた。まだまだ慣れていないので、多少違和感があるし、忘れがちである。いい経験だと思う。また、アメリカで買い物をする際、展示してある商品の値段に税金は含まれていない。4.7%の税金は会計するときに加算されるのだ。ABC store (コンビニ) では円の紙幣も使えるので、ドルが足りなかった場合に役に立つ。

ハワイは多国人種によってつくられた国だと今度の旅から分かった。そして日本観光客の人数に驚いた。どこに行っても日本語が耳に入るぐらいだった。ハワイは旅行なら必ず最高のところであるが、勉強するところとしては一番ではないと思う。なぜかという、まず日本人観光客が多かったのも、店員や業者の人はほとんど日本語で対応できて、日本語で声をかけられたことも少なくなかった。英語でなくてもコミュニケーションが取れることで英語を使うという意志を失う可能性があると思う。そして、それほど優れたところについて、遊ぶ気持ちは丸出しのではないか。また、ホテルに戻ると、同じ部屋にいるのも日本人だ。中国人である私にとっては日本語の練習になるかもしれないが、多くの日本人学生にとっては？

今回、私は日本以外の国へ初めて旅立った。言語の勉強もハワイの原住民文化の勉強も飛躍な一步を踏み出した。まだまだ、表現したことがあるのに言葉や単語を思い出せない場合がたくさんあるので、英語の活用と会話の言葉をあたまの中に入れて、英語学習をしたいと考える。今後、休みの時にもできるだけ外国へ旅立ち、異文化共生とコミュニケーションに力を入れたいと思う。

